

## 「同情」より

### 正しい「理解」

人間が生きていく上で、「同情」という感情をもつことは大切です。しかし、深く感じなければ他人事としかとらえきれず、それが時として、上から下という感情や偏見をうみ、横柄、さげすみという行為に通じてしまう場合もあります。

私たちは、同和問題をはじめさまざまな人権問題を知らず知らずのうち

に、そうした偏見の目で見たり、他人事の同情的な姿勢で向き合ったりしていることはいくつうか。

「同情」という感情をもとにした表面上の「いたわり」や「思いやり」だけで人権を考えることは、差別の再生産につながってしまうかもしれません。また、何もせず傍観することや同調という立場で

いる状況を自分は許すことができない。」  
こんな考え方や立場にみんなが立ちきれたとき、それが差別解消への大きな力となるのです。

#### 「百の同情より

正しい一つの理解」  
このことはすべての人権問題に向き合う基本的な姿勢ではないでしょうか。

日々の生活の中で、絶えず、自分の人権問題に関わる姿勢を見つめ直していきたいと思えます。

#### 参考

愛媛県西条市

「人権ホットメール」



市人権推進課(教育庁舎1階)

TEL 32・2122

FAX 33・3525

Mail: jinkensushin@city.komatsushima.tokushima.jp

## 市民文芸 花みずき歌壇 (317) 松並敦子・選

水槽の底に落ち来る餌を待つ鯨のような療養なりぬ

ひのみね総合療育センター 関 政明

《評》二十五歳で発病してから四十年近く療養生活を送っている関さん。使える左手だけで、パソコンを駆使し、電動車椅子を使うことで自分の世界や行動範囲を広げ、画家として歌人として多くの優れた作品を世に送り出している。しかし、日常生活は全て他人の手を借りなければ生きてゆけない。これではまるで水槽に飼われている鯨と同じではないかと、諧謔的な表現に奥深いかなしみが伝わってくる。

いくたびも「よいしよ」と掛け声かけながら動作の鈍き我を励ます

田浦町 西 照子

アルバムを繰れば友らと巡りたる白装束の皆みな若し

横須町 三宅 敏恵

ジャンケンポンあれよあれよでチャンピオントロフィー頂き頬つねりおり

神田瀬町 大西カヲル

潮の香の阿部の港へ吟行す跳ねる伊勢海老今日のみやげに

赤石町 田原トシ子

今期にて霊場廻り結願に大師様にも十四回御礼

中田町 倉橋 正則

耳弱り夫の小声の聞き取れぬ日々にも慣れて向日葵の咲く

小松島町 川人 豊子

宝クジ幾度買っても当たらない抽選日までは夢のふくらむ

櫛淵町 松下 玉枝

踊り子の手首のごとき細枝をためらわず剪る華道家の美女

立江町 大西 和美

日赤の救急外来にたどり着きやさしきナースに縋りて訴う

江田町 深田 伴子